

## 【創立 65 周年記念事業】有林浩二参事官の講演会が開催されました



有林浩二参事官

2024 年 2 月 10 日、ワシントン日本語学校に在アメリカ合衆国日本国大使館にて当地の科学技術外交を統括されている有林浩二参事官をお招きし、「科学技術が切り拓く未来社会」と題した記念講演会が開催されました。本講演は創立 65 周年記念事業「未来を創れ！」の一環として行われたものです。講演会では、有林参事官に日本の科学技術政策および当地での対応について熱く語っていただきました。

本校の保護者でもある有林参事官は、医療・バイオ・量子・AI・原子力・宇宙といった日米の間で既に協力が進んでいる分野や、新興の科学技術としてこれからの日米協力をどのように構築していくか、などの課題に取り組まれています。

講演会では、有林参事官から日本の科学技術政策である [Society 5.0 政策](#) が紹介され、例えばビッグデータと AI の活用により、これまでの一方的な情報検索ではなく、その人のニーズに合った最適化された情報の提案が可能な社会になるなど、未来像を分かりやすく説明していただきました。一方で今後、日本の科学技術力・競争力を維持するためには世界の国々とより協力して取り組んでいくことが重要であり、日本と世界の科学者の交流機会を増やしていく必要があること、そのためにも米国に限らず海外で日本の若手研究者が学ぶための機会を促進していかなければならないと強調されました。



また、1 月に大きなニュースとなった日本の小型月着陸実証機 SLIM のお話から、日本人の月面着陸の実現を目指し [日米で協力が進むアルテミス計画の最新事情](#) など、近年、国のみならず民間企業の参入でますます加速している宇宙開発についてご紹介いただきました。最後は、有林参事官のご専門であり、新たなエネルギー生成手段として米国で大きな投資が進む、[フュージョンエネルギー戦略](#) について、海水中からほぼ無尽蔵に燃料が得られること、運用の原理やその安全性についてなど、大きく注目される未来のエネルギーに関する大変興味深いお話をしていただきました。

有林参事官は科学技術・政策の様々なトピックを網羅したうえで非常に分かりやすく説明してくださり、参加者からは、「ぜひ今度は生徒たちにもお話をお願いします」との声が多く上がった素晴らしい講演会となりました。講演会後、管理運営委員会に届いた感想の一部を紹介します。



難しい話かと思ったのですが、多岐にわたっての色々な科学技術のことや、これからの IT について、子供たちにもかかわる将来のエネルギーのことなど、とても興味深かったです。(小学部保護者)

とても分かりやすく説明してくださり、あっという間の一時間でした。科学分野での日本の今後の目標などを知れて良かったです。聞いたことがなかった、フュージョンエネルギーの話ですが、原子力発電との違いなども説明していただき、とても興味深かったです。貴重なお話をどうもありがとうございました。(高等部保護者)

大変素敵なお話で、家で子供に話してみました。興味深く聞いてくれて良い刺激になったと思います。(高等部保護者)